

2026.8.5

ギカイ の ひろば

◆CONTENTS

二小の隣地に学童保育クラブを新設
～待機児童解消へ～ ▶P4

瑞中トイレ改修
～和式便器を洋式便器に
水の流れもスムーズに～ ▶P4



NEW!! 新企画スタート!

議員への一問一答が始まりました。ぜひ各ページ下部もご覧ください。



特 集

What's OHAKO BASE !?

オハコベースってなに?



箱根ヶ崎駅西口盆踊り



箱根ヶ崎駅西口盆踊り実行委員会
たんぼ 多武保 理さん・吉野 修さん

イベントに関わったきっかけ、イベントの始まり

この活動の原点は、コロナ禍以前に実施した町内合同の盆踊りにあります。「地域を盛り上げたい」と、町内会長経験者や有志らが事務所に集まり、酒を酌み交わしながら企画を練ったのが始まりです。「1人10万円ずつ出し合おう」という冗談のような提案が、結果として合同開催の資金となり、個人の熱意が組織を動かす原動力となりました。

運営体制

利益を追求せず、補助金を活用して地域住民に還元する「損をしない運営」を徹底しています。これにより、焼きそばなどの屋台も極力抑えた価格で提供しています。実行委員会メンバーがステージ設営を担当したり、かき氷は実行委員会メンバーの知り合いが担うなど、適材適所の役割分担としています。

現在の課題

イベントは回を重ねるごとに熱を帯び、屋台の食べ物や飲み物が午後6時には完売してしまうほどでした。町内会で食券を配布しましたが、会場に行っても商品がないという苦情など、想定以上の来場者数に対する運営課題もありました。

今後の抱負と新たな取組

近年、近隣住民が互いに「どこの誰か」を知る機会が減少していると感じます。この盆踊りを通じて、老若男女が交流し、顔の見える関係性を再構築する場となることを目指しています。



令和7年9月14日に開催した箱根ヶ崎駅西口盆踊り



令和8年10月3日土
に開催予定

コラム

今回の取材で、皆さんからOHAKO BASEを活用して町を盛り上げようとする熱い気持ちが伝わってきました。これからさらに多くの方々にOHAKO BASEを活用していただき、町を盛り上げていただきたいと思います。利用希望者は、瑞穂町観光情報サイトをご覧ください。取材へのご協力ありがとうございました。



瑞穂町観光情報サイト

OHAKO BASEとは箱根ヶ崎駅の西口にある公有地のことです。町ではこの公有地を活用し、地域住民×行政×事業者の協働により、にぎわい創出に向けた暫定的なコミュニティ拠点づくりを行っています。令和5年度のプレイベントを皮切りに、これまで地域住民や事業者が中心となり多彩なイベントが開催されています。令和6年度には暫定インフラとしてOHAKOYAが設置され、OHAKO BASEとともに利用希望者に貸し出しを行っています。今回は、地域を盛り上げるためにOHAKO BASEを活用された方々からお話を伺いました。

OHAKOYA…ウッドデッキを備えた木造の小屋。

みずほまるごとマルシェ



みずほまるごとマルシェ
実行委員会
川辺 美沙さん

イベントに関わったきっかけ、イベントの始まり

当時はコロナ禍だったため、「屋外であれば歌っても大丈夫ではないか」という発想からイベントを企画しました。どうせなら他の方々も巻き込んで盛り上げようとなったことが、「みずほまるごとマルシェ」の原点です。

運営体制

運営は全員がボランティアで行っています。運営メンバーだけでなく、非常に多くの方が「協力したい」と声をかけてくれます。私自身も「大変」ではなく「楽しめている」と感じており、イベントを通じてさまざまな人の得意分野や魅力に気づききっかけになっています。

現在の課題

資金繰りが厳しく、警備員や駐車場管理スタッフの配置が難しい現状があります。また、前回大盛況となった一方、駐車場が足りなくなるという問題が発生しました。

今後の抱負と新たな取組

引き続き「みずほまるごとマルシェ」を町の魅力が再発見できる場に育てていきたいです。新たに作曲したマルシェのテーマ曲（みずほまるごとよいところ）で、さらに盛り上げたいです。



令和8年5月24日に開催したみずほまるごとマルシェ

pick up1

議案第51号 令和8年度瑞穂町一般会計補正予算(第2号)

副校長の業務負担を軽減

Q 学校マネジメント強化事業補助金の内容は。

A 副校長の業務負担を軽減するために、副校長を補佐する会計年度任用職員を町が任用する場合に都が100%補助する。

第一小学校、第四小学校、瑞穂中学校に配置予定である。

令和8年第2回瑞穂町議会定例会議案

全会一致で可決（承認・同意・適任）された議案等

議案第	38号	専決処分の承認について（瑞穂町税賦課徴収条例の一部を改正する条例）
議案第	39号	専決処分の承認について（瑞穂町都市計画税条例の一部を改正する条例）
議案第	40号	専決処分の承認について（瑞穂町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）
議案第	41号	専決処分の承認について（アメリカ合衆国軍隊の構成員等の所有する軽自動車等に対する軽自動車税の種別割の賦課徴収の特例に関する条例の一部を改正する条例）
議案第	42号	専決処分の承認について（令和7年度瑞穂町一般会計補正予算（第12号））
議案第	43号	専決処分の承認について（令和7年度福生都市計画瑞穂町箱根ヶ崎駅西土地区画整理事業特別会計補正予算（第4号））
議案第	44号	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例
議案第	45号	瑞穂町税賦課徴収条例の一部を改正する条例
議案第	46号	瑞穂町都市計画税条例の一部を改正する条例
議案第	47号	瑞穂町介護保険条例の一部を改正する条例
議案第	48号	瑞穂町農業委員会委員の任命について
議案第	49号	人権擁護委員の候補者の推薦について
議案第	50号	瑞穂町道路線の廃止及び認定について
議案第	51号	令和8年度瑞穂町一般会計補正予算(第2号) pick up1
議案第	52号	令和8年度福生都市計画瑞穂町箱根ヶ崎駅西土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）
議案第	53号	令和8年度瑞穂町介護保険特別会計補正予算（第1号）
議案第	54号	令和8年度瑞穂町下水道事業会計補正予算（第1号）
議案第	55号	瑞穂第二小学童保育クラブ建設工事請負契約について pick up2
議案第	56号	町立瑞穂中学校トイレ改修工事請負契約について pick up3
議案第	57号	令和8年度瑞穂町一般会計補正予算（第3号）

pick up2

議案第55号 瑞穂第二小学童保育クラブ建設工事請負契約について

第二小学校の隣地に学童保育クラブを新設 待機児童解消へ

待機児童および遠距離登所を解消し、児童の安全・安心の確保および利便性の向上を図るため、保育室の面積を拡張して約80人が利用できる学童保育クラブを新たに建設するための工事契約議案が町側から提出されました。

Q 子どもたちへの安全対策は。

A 第二小学校の校庭から直接登所できるようにするとともに、駐車場と歩行者用通路を分けることで安全面に配慮した。また、防犯カメラ8台を設置し、モニター越しに事務室で見守りを行うことができる。

Q なぜ太陽光パネルを設置しないのか。

A 利用時間帯と発電時間帯が合わず、不足する電力を購入する必要がある。また、隣接する第二小学校が避難所であるため、防災面での必要性も低く、費用対効果を考慮して見送った。



長岡一丁目にある既存の瑞穂第二小学童保育クラブ

契約方法	制限付一般競争入札
契約金額	2億625万円（落札比率94.49%）
契約相手	株式会社島田組（羽村市）
工期	令和9年3月1日まで

pick up3

議案第56号 町立瑞穂中学校トイレ改修工事請負契約について

和式便器を洋式便器に改修 水の流れもスムーズに

和式便器の洋式化、照明のLED化および換気扇の交換、生徒棟に女子トイレブースの増設、管理棟にバリアフリートイレと玄関スロープの新設などを行うための契約議案が町側から提出されました。

Q トイレの流れが悪いと聞いているが、改善されるのか。

A 各タンクに溜めた水を流す方式に変更するため、流れがスムーズになり、排水能力も問題ない。

Q 工事中のトイレ利用や工事騒音による授業への影響について、どのように対応するのか。

A 男女各9器の仮設トイレを設置する。大きな音が出る生徒棟のトイレ撤去工事を夏休みに集中して行うことで、授業への影響を最小限にする。



改修前の瑞穂中学校トイレ(左)と、改修後イメージ(右・瑞穂町多世代交流センター MIZCUL)

契約方法	指名競争入札
契約金額	7,519万6,000円（落札比率87.24%）
契約相手	株式会社マルリョウ（立川市）
工期	令和9年2月10日まで

※全ての議案の詳細はHPでご覧になれます。



解説 陳情とは…町などの公共機関に対して実情を訴え、要望する行為。

8陳情第4号 mRNAワクチン(レプリコンワクチンを含む)接種事業中止の意見書提出を求める陳情書

【陳情者】 宇井 淳

【陳情の趣旨】 国に対し、mRNAワクチン(レプリコンワクチンを含む)の国民への接種中止を求める意見書を提出されたい。

厚生文教委員会で審査

担当部署への主な質疑

- Q 当ワクチンの有効性は。
- A 有効性や安全性が確認されたうえで、薬事承認されている。また、健康被害救済制度などでも副反応についての報告などを求めている。厚生労働省の審議会で定期的にその結果を評価、検証している。
- Q 接種を中止した際の影響は。
- A 令和6年、3万6,000人が新型コロナウイルス感染症で死亡している。死亡者の約97%が、65歳以上の高齢者。ワクチンを中止した場合は高齢者の重症化が懸念される。

議員間討議での主な意見

陳情者の提出したデータの信頼性に疑問がある。

全面禁止をすることで、ワクチンに関する研究が止まってしまうことも考えられる。全面中止はデメリットの方が大きいと感じる。

任意接種なので、接種するかは個人の判断。受ける人の権利を奪うことは問題。

委員会での審査結果は、**不採択**とすべきものとなり、その後、本会議での採決の結果、**不採択**となりました。

8陳情第6号 特別支援学級に通う児童の通学手段支援に関する陳情書

【陳情者】 みずほ親子の会 会長 畠澤 佐紀

【陳情の趣旨】 町内の特別支援学級に通う児童の通学手段および保護者の送迎による負担に対し、公的な通学支援を実施されたい。

厚生文教委員会で審査

担当部署への主な質疑

- Q 特別支援学級の児童数および学区外から通学している児童数は。
- A 一小的「たんぼぼ学級」が29名で、そのうち学区外から通学している児童は24名。四小的「ひかり学級」が11名で、そのうち学区外から通学している児童は6名。
- Q 周辺の自治体の支援状況は。
- A 羽村市ではタクシー通学事業を実施している。日の出町、あきる野市では通常の学級も含めて遠方の児童にはバスによる送迎をしている。福生市では市内の1校の情緒固定学級のみ申請のうえ、福祉バスの利用ができる。武蔵村山市では緊急時に限ってのタクシー券の使用を認めている。奥多摩町、檜原村、青梅市、昭島市では特に実施していない。

議員間討議での主な意見

保護者から学校や町への要望はないとのことだが、通学支援の検討をすべきである。

児童や保護者のことを最優先に考えて意思決定すべき。

町の教育部と福祉部の連携を密にしていけることが大事ではないか。

これから実態などを確認する必要があるが、町の対応や対策に期待し、今後の動向を注視していくべきである。

委員会での審査結果は、**継続審査**となり、その後、本会議で**継続審査**が議決されました。

※全ての陳情の詳細はHPでご覧になれます。



8陳情第5号 「原油由来製品不足・価格高騰における中小企業等への直接支援制度の創設を国に求める意見書」提出を求める陳情書

【陳情者】 東京土建一般労働組合西多摩支部 執行委員長 辻岡 邦之、常任執行委員 功刀 誠

【陳情の趣旨】 中東情勢(ホルムズ海峡封鎖など)に伴う原油・原油由来製品の不足や価格高騰の影響を踏まえ、中小企業などの事業継続を支援するため、国に対し全国一律の直接支援制度の創設を求める意見書を提出されたい。

総務産業建設委員会で審査

議員間討議での主な意見

担当部署への主な質疑

- Q 町の事業や公共・福祉サービスへの直接的な影響は出ているか。
- A 福祉作業所などで、ビニール手袋の発注調整や梱包資材の確保に苦慮する事例があることを把握している。
- Q 商工会や現場の声は把握しているか。
- A 商工会へのヒアリングでは、建設業や製造業を中心に材料の入手困難や相次ぐ値上がりが生じていると聞いている。

国は「中東情勢等対応予備費(2兆5,000億円)」を含む補正予算の計上や、日本政策金融公庫による貸付金利引下げ、信用保証による支援強化などを表明している。

地方自治体の財源には限界がある。現に困窮している地元の声を集約し、国へ届けて動かすことこそが地方議会の果たすべき役割である。

業種によって影響の度合いが異なる中、単に一律の給付を求めるよりも、政府が進めている代替調達の促進や、目詰まりの解消といった「価格高騰の根本的な原因解決」の施策を注視、期待すべきである。

委員会での審査結果は、採択1名、不採択6名で**不採択**とすべきものとなりました。その後、本会議での採決の結果、**不採択**となりました。

本会議で賛否の分かれた陳情 ○…賛成 ×…反対 ※議長は採決には加わりません。

件名	付託先	自民								公明		共産	笑顔	立憲	結果
		森	榎本	古宮	下澤	香取	大和	高橋	浜崎	下野	原	大坪	井上	川島	
8陳情第5号 「原油由来製品不足・価格高騰における中小企業等への直接支援制度の創設を国に求める意見書」提出を求める陳情書	総務産業建設委員会	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	不採択

自民：自民誠和会 公明：公明党 共産：日本共産党 笑顔：もっと瑞穂に笑顔 立憲：立憲民主党

請願・陳情審査の流れ

- 提出期限内に受理した請願・陳情の取り扱いについて、本会議前に開催する議会運営委員会にて協議します。
- 提出された請願・陳情の審査は、本会議初日に所管する委員会に付託されます。
- 本会議終了後、付託された委員会で審査された結果、結論が出た請願・陳情は、本会議で審議され、採決を行います。
- 請願・陳情の内容について、議会として賛成できるものは「採択」、賛成できないものは「不採択」、継続して審査する必要があるものは「継続審査」となります。採択した場合には、町、都および国に意見書や要望書を提出することもあります。

付託…審査を委ねること。

香取議員：オフコースの「眠れぬ夜」です。高校の合唱祭で歌いました。選曲から発表まで、クラス全員で楽しみました。

大和議員：マイケル・ジャクソンの「スリラー」「ビートイット」「ビリーゼーン」。大学時代に音楽ビデオでダンスと歌に魅了されました。

一般質問

議員13人から一般質問21件

一般質問とは？

議員1人につき60分の持ち時間を設定し、その中で町が行っている事業の現況や将来の方針に関して、町長や教育長に質問したり、政策提言や問題提起をします。

質問の範囲は、町の行財政、地域の問題や住民生活に関わる事項など多岐にわたります。

一般質問は深い議論を行うため、原則としてあらかじめ通告しておくことになっています。



議長席から見た議場（後方は傍聴席）

おおつば 大坪 国広 議員（日本共産党）

第10期介護保険制度の改定について



町長 保険財政の試算などを踏まえ、適切に判断していく

質問 介護保険制度は、法施行から25年が経過した。制度の改定ごとに、保険料や利用料が値上げされ、被保険者の負担が増えた。そこで、次の4点について所見を伺う。

問① 第10期介護保険制度の具体的改定の検討内容は。

町長 介護保険事業計画は、国の基本指針に沿って策定する。社会保障審議会介護保険部会の議論の状況を注視していく。

問② 保険料は、介護給付費準備金の活用で引き上げを抑えるべきと考えるが。

町長 サービス見込み量と保険財政の試算を踏まえ、適切に判断していく。

問③ 物価高における小規模事業者への支援は。

町長 経済情勢の変化が大きく、介護事業以外にも影響が広がっていることから、国や東京都の動向を踏まえ、判断していく。

問④ 在宅で家族介護している方々に、「家族介護慰労金」を検討すべきと考えるが。

町長 制度の対象となる方の在宅生活を適切に支えていくには、専門家の助言やサービスを受けられる保険制度の利用が必要。慰労金の増額や他の制度の創設は考えていない。



長岡コミュニティセンター内にある西部高齢者支援センター

もり 森 亘 議員（自民誠和会）

マイククロレデンシャル化で協働のまちづくり推進を



町長 国や他自治体の動向を注視していく

質問 住民と町職員の間、経験や学び、貢献を見える化し、まちづくりへの参加意欲の向上と人材育成につなげるためにマイククロレデンシャル化すべきと考え、次の4点を伺う。

問① マイククロレデンシャルやオープンバッジの認識は。

町長 全課を対象に、協働事業の取組状況調査を毎年実施し、情報共有を図っている。

問② 若者や学生の地域参加促進に活動証明やデジタル認証を導入しては。

町長 国や他自治体の取組や現状、動向を注視していく。

町長 ジュニアリーダー養成講座での認定の交付や、瑞穂協働事業の取組状況調査を毎年実施し、格証の交付などを行っている。

問③ モデル事業として小規模実証事業を行う考えはあるか。

町長 国や他自治体の取組や現状、動向を注視していく。

町長 マイククロレデンシャルは、短期間の講習や特定の講座で取得した技術や知識を証明する学習証明で、オープンバッジは、その学習証明がデジタルで保存されているものとして理解している。

問② 学習支援、見守り、防災など、各種ボランティアの活動



令和7年度 瑞穂ふるさと大学認定証授与式

マイククロレデンシャル…個人の特定のスキルや知識の習得を短期間の学習成果として証明する仕組み。

はまざき たかし 議員（自民誠和会）

令和8年度の不登校児童・生徒の対策にかかる成果目標と取り組みについて



教育長 誰ともつながっていない子どもゼロを目指す



子どもの居場所づくりをイメージしたイラスト(生成AI)

質問 増加傾向にある不登校児童・生徒に対する町の現状と取り組みについて4点伺う。

問① 各町立小・中学校の児童・生徒数、不登校の児童・生徒数および増加状況は。

教育長 令和6年度までの不登校児童・生徒数は増加傾向で、7年度は小学校で微増、中学校で減少している。

問② 不登校とされている児童・生徒のこれまでの主な進路先は。

教育長 多くは高等学校に進学している。

問③ 増え続けている不登校児童・生徒に対する取り組みは。

教育長 スクールソーシャルワーカーの配置、教育支援室「いぶき」での支援など、児童・生徒に合わせた取組を進めている。

町長 誰ともつながっていない子どもがゼロであることを目指している。在籍教室外でも学習支援を受けることができ、充実と実践を進めている。

問④ 長期総合計画後期基本計画では「不登校対策の推進」を主要な取組に掲げているが、令和8年度の成果目標と取り組みは。

教育長 誰ともつながっていない子どもがゼロであることを目指している。在籍教室外でも学習支援を受けることができ、充実と実践を進めている。

町長 円滑に進むよう、引き続き側面支援をしていく。

質問 電磁記録投票法が2002年に施行されたが、実際に電子投票が実施された事例は全国でも限定的である。そこで、次の3点について伺う。

町長 過去に導入事例がある一方で、機器トラブルなどにより、各選挙管理委員会が慎重な姿勢をとるようになり、全国的な普及には至っていない状況。



かわしま やすひろ 議員（立憲民主党）

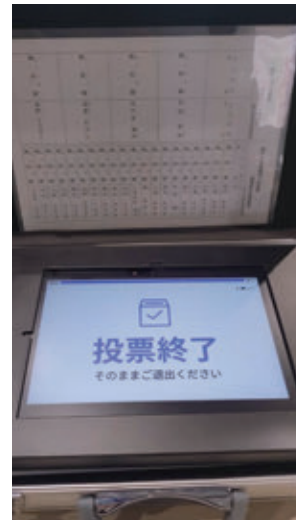
電子投票を含む投票環境向上策について



町長 投票環境をさらに向上させていく方策を研究していく必要がある

問② 電子投票について、先行事例や課題に関する調査・研究を行っているか。

町長 選挙管理委員会では調査・研究は行っていないと聞いていますが、書籍などで情報収集を行っているとのこと。



デモ中の電子投票機

町長 意欲ある若手職員が離職せず働き続けたいと思える職場づくりに努める。

町長 意欲ある若手職員が離職せず働き続けたいと思える職場づくりに努める。

高橋 洋子 議員（自民誠和会）

ヤングケアラーの理解促進と支援体制の充実について



町長 普及啓発活動などを実施していく

質問 近年、ヤングケアラーが社会課題となっている。本人や家族がヤングケアラーだと認識しづらく周囲も気付きにくいため、町全体で理解力を高め、かつ、早期の支援が必要であると考える、次の5点を伺う。

町長 国や都、町の相談窓口を周知し、相談先を選択できるよう配慮している。

町長 配置は予定していない。

町長 子ども家庭センター課を中心に、要保護児童対策地域協議会を活用して連



井上 一也 議員（もつと瑞穂に笑顔）

「みずほまる」を核とした総合的なブランディング戦略を



町長 みずほまるを見ると瑞穂町が思い浮かぶことを目指していく

見ると瑞穂町が思い浮かぶことを目指していく

質問 「みずほまる」は、町民を含め多くの方に愛されているキャラクターである。この「みずほまる」を町のアイデンティティを高める戦略的資産と位置付け、町が描く都市ブランドに結び付けてはどうか。具体的には、みずほまるのデザインを使用した対象車種プレートの対象車種拡充による町外への発信力強化、デザインマンホールやごみ袋の刷新を通じた住民の愛着醸成、庁舎窓口等の「おもてなし空間」での活用など、具体的方策について町の考えを伺う。

町長 過去に導入事例がある一方で、機器トラブルなどにより、各選挙管理委員会が慎重な姿勢をとるようになり、全国的な普及には至っていない状況。

町長 意欲ある若手職員が離職せず働き続けたいと思える職場づくりに努める。

町長 今後みずほまるの活用方法を拡充し、みずほまるを



みずほまるの活用イメージ（生成AI）

やまと まさひろ 議員（自民誠和会）

猛暑下における消防団ポンプ操法審査会の実施時期の見直しを



町長 これまでよりも早い時期に開催する方向で調整している

町長 9年度の消防団ポンプ操法審査会は、熱中症リスクを軽減し、昨今の危険な暑さを少しでも避けるために、これまでよりも早い時期に開催する方向で、関係各所と調整している。

町長 将来的に技術改良がなされ、課題が解決され、社会実装が見えてきた時点で、公共施設への導入や、民間住宅への普及促進策を考えていきたい。



令和7年度に実施されたポンプ操法審査会で全力で走る団員

榎本議員：幼い頃に姉に連れられ、言われるままに初めて購入したレコード「ジョニへの伝言」。自分の手元にあったのは1日限り。

原議員：舟木一夫の「高校三年生」。小学6年生の修学旅行で訪れた東京タワーで流れていた曲です。

質問 町内では、デマンド交通の予約が取りづらい、運行時間の制約がある、コミュニティバスが自宅の近くを通らないなど、日常の移動に不便を感じている住民の声が多い。こう

かとり ゆきこ 議員（自民誠和会）

地域主体の助け合い交通の導入について



町長 導入には多くの課題がある

した中、地域の人の力と自家用自動車で柔軟に外出を支え、低コストで導入できる助け合い交通の利点が注目される。助け合い交通の導入を含め、町として移動手段の強化をどのように進めるのか伺う。

町長 助け合い交通を導入するには、交通事業者との競合や、運転手の確保などの地域の団体による持続的な運行体制の構築など、多くの課題

がある。今後、運行を担える団体が現れ、導入を希望する場合については、実現の可能性について話を聞いてみたい。コミュニティバスやデマンド交通の運行計画の継続的な改善、利用促進の取組により、持続可能な公共交通ネットワークを構築し、誰もが安心して便利に暮らせるまちを実現していくために取り組んでいく。



公共交通空白地域の解消などを目的として走行しているコミュニティバスと、デマンド交通「チョイソコみずほまち」

しもざわ あきお 議員（自民誠和会）

公共施設等に対するいたずら、破壊行為対策について



町長 人の目での犯罪抑止にも取り組んでいる

質問 超少子高齢化、円を支出している。国内外の情勢の変化による諸物価高騰等により、行財政運営も厳しさを増している。公園トイレを含む公共施設等に対するいたずら、破壊行為は、金額の大小に関わらず、実に無駄な支出である。そこで、次の2点について所見を伺う。

問① 公共施設等に対するいたずら、破壊行為の発生件数、被害額および対応策は。

町長 公園トイレを含む公共施設などに対するいたずらや破壊行為は、令和7年度で18件、修繕に係る費用として約33万

入を考えるが。

町長 今後は、費用対効果や利用実態などを踏まえながら、ナッジの考え方も含め、効果的な注意喚起表示などを研究し、公共施設の適正利用の促進につなげていく。



下師岡公園トイレと町が対応したトイレ内の注意喚起

こみや いくお 議員（自民誠和会）

公共施設等総合管理体制について



町長 町の規模や実情に即した最善の体制を目指す

最善の体制を目指す



質問 瑞穂町公共施設等総合管理計画は2017年3月に策定、2022年3月および2024年3月に改訂され、また、2024年3月には、公共施設個別施設計画が策定された。築後40年を超過する施設は、全施設の約70%にもなろうとしている。当初計画より「維持管理を総合的かつ計画的に進めていくため、庁内での体制を強化する」とある。そこで、専門部署による一括管理等も目指すべきと考えるが、具体的な町の取り組みを問う。

トの包括的な部分を推進するため、行政改革推進本部会議を中心とした庁内体制を構築し、取り組むよう指示している。

現時点で庁内の人的一元資源に限りがあり、一元管理を行う専門部署の設置は、組織としても人員の集約に課題がある。共通の課題を抱える他自治体とも情報交換しながら、町の規模や実情に即した最善の体制を目指していく。

町長 住民サービスの向上と職員の働きやすい環境整備に努める。

町長 新たな行政課題に対応できるよう、公共施設マネジメント



令和4年3月にリニューアルオープンした瑞穂町図書館の改修当時の様子

はら たかお 議員（公明党）

高齢者支援ガイドブックの作成および支援サービスの見直し・充実を

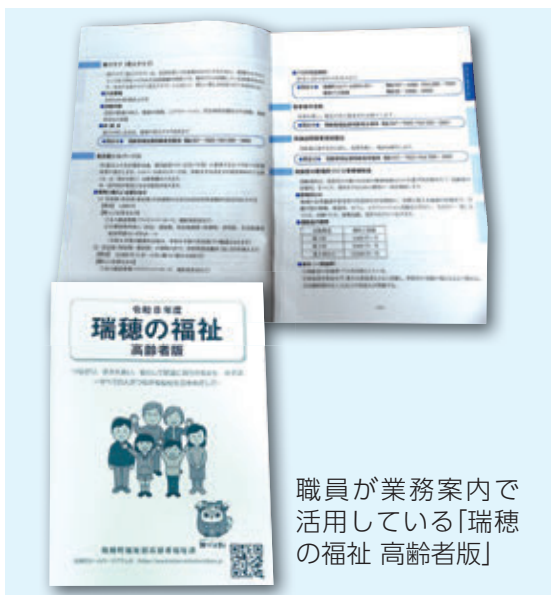


町長 瑞穂の福祉を受け手の立場に立った視点で更新していく

町の「高齢者救急直接通報システム事業」は、固定電話がない方は利用不可能である。固定電話を利用しない民間の見守りサービスなども増加してきている中、助成制度の創設や町の現行サービスの研究・見直しを行い、高齢者への支援をさらに充実すべきと考えるが。

町長 現在発行している「瑞穂の福祉」を、より情報の受け手の立場に立った視点で内容を更新していく。

いくことで、対応を図っていきたく考える。また、きめ細かな対応も必要と考えるため、相談機関連する高齢者支援センターの周知を継続する。高齢者の見守り・安否確認の事業は、状況などを注視しながら、現在提供している高齢者支援福祉事業の見直し、統合、手法の変更も視野に入れ、今後行う高齢者保健福祉計画策定作業の一環として研究していく。



職員が業務案内で活用している「瑞穂の福祉 高齢者版」

議会モニター委嘱式・意見を聴く会 ～新年度スタート～

瑞穂町議会では、議会改革や活性化を推進し開かれた議会を目指すため、令和5年度より議会モニター制度を実施しています。

4月15日に委嘱式が行われ、議会モニターの方々(5名)に、議長が委嘱状を交付しました。

議会モニターの方々には、定例会や委員会を可能な範囲で傍聴していただき、アンケートへの回答や意見を聴く会などを通じてご意見をいただきます。

議会モニター
委嘱式



8年7月3日に開催の議会モニター意見を聴く会で議員定数などについての意見を聴く議員

議員定数に関する協議を再開

令和5年9月21日の議会運営委員会で「ここ数年、議員の定数(16名)に満たない状況が続いていることなどから、議員定数について検討する必要がある」といった意見があり、協議が開始されました。その後、議長からの諮問を受け、令和6年2月5日からは全議員で構成された議員政策研究会へ協議の場が引き継がれました。議員政策研究会では、令和7年1月24日までの間、8回にわたって協議が行われました。そこでの協議結果が議長に報告され、その後、議会運営委員会で結果の共有が図られました。最終的には「議会改革の大きな視点の中で、適正な体制において、今後も協議を継続していくべき」との結論が、令和7年3月19日に議会運営委員会から議長へ報告されました。

その後、住民から定数を減らすべきとの声があること、近隣自治体も定数を減らしている動向があること、来年の統一地方選挙も迫っていることなどから、令和8年5月21日から議会運営委員会において議員定数についての協議が再開されました。人口規模や行財政状況といった一般的な指標以外に、参考人や住民に直接意見を伺うなど、多角的な観点から協議を進めていきます。

基地対策特別委員会

横田基地を見学

4月30日、基地対策特別委員会の委員6名が、周辺自治体議会や東京都、北関東防衛局と合同で実施された横田基地視察に参加しました。

基地内をバスで一巡した後、基地の概要についての説明を受けました。その後、当時の横田基地司令官マックエルハニー大佐から歓迎の挨拶をいただいたほか、午後にはC-130J輸送機やCV-22オスプレイの地上展示、そして機体の内部の状況などについても確認することができました。

基地対策特別委員会



C-130J輸送機の前で隊員と写る視察委員

えのもと 榎本 義輝 議員(自民誠和会)

青梅街道の迂回路について



町長 安全対策の一つの方法として位置づける



夕方の通勤時間帯に混雑している区画道路6-27号線

町長 区画道路6-27号線は、特に朝夕の通勤時間帯には通行車両が増加し、沿道の方の不安の声があることも承知している。現時点では、ポールや看板などにより注意喚起を行うなど、適宜対応して

だ開通のめどが立っていない。そのため、やむなく区画整理地の内の6-27号線を迂回路として利用しているが、道路幅も狭く安全性にも欠ける。そこで、宿西公園の工事が着手される令和11年度までの間、予定地を迂回路として活用すべきと思うが、所見を伺う。

こんな質問もありました
身近な生活圏での連携強化を
町長 分野ごとに関連する自治体との連携を強化するとともに、新たな連携も自治体間で議論・調整していく。

いる。宿西公園予定地を活用した迂回路の設置は、今後の公園整備時期や課題などを検証するなど、安全対策の一つの方法として位置づける。併せて青梅街道へ迂回を促す新たな方策など、沿道の安全確保に努める。

町長 町では、第三次地球温暖化対策実



みずほエコパーク管理棟前広場で年9回実施されているリユース事業「みずほ青空市」

質問 町では、太陽光発電設備の設置、公用車へのEV車の導入、ごみ減量や資源化等に取り組んでいる。今後の社会を考え、町民と共に以上に温暖化対策に取り組むことが望まれる。町も「ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、太陽光発電と蓄電設備の設置促進、EV車の導入と充電器設置、企業と連携したリユース事業の導入、ごみ減量の推進、独自の学習ツールでの小学生の環境教育等についてさらなる推進を図るべきでは。

町長 取組を分かりやすく住民に周知し、機運醸成につなげていく

質問 町では、太陽光発電設備の設置、公用車へのEV車の導入、ごみ減量や資源化等に取り組んでいる。今後の社会を考え、町民と共に以上に温暖化対策に取り組むことが望まれる。町も「ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、太陽光発電と蓄電設備の設置促進、EV車の導入と充電器設置、企業と連携したリユース事業の導入、ごみ減量の推進、独自の学習ツールでの小学生の環境教育等についてさらなる推進を図るべきでは。

町長 町では、第三次地球温暖化対策実

下野 義子 議員(公明党)

わが町も「ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、さらなる温暖化対策の推進を



国際大会で大活躍！

いからし しょうたろう 五十嵐 常太郎さん(16歳)、まおり 麻央里さん(12歳)

アメリカで開催された国際空手道大会の年齢別で、身体の大きい外国人選手相手に常太郎さんは型と組手で準優勝、妹の麻央里さんは型で優勝、組手で3位となりました。落ち着きと礼節を身に付けようと空手を始めた常太郎さん。兄を見て始めた麻央里さん。毎日欠かすことのない厳しい練習を約10年間、自ら進んで取り組んできました。「空手を通じて礼儀と思いやりの心の大切さを学んできました。将来は学校の先生になりたい」と話す常太郎さんと、「都大会で良い成績をとりたい」と話す麻央里さん。夢に向かって進む二人の「輝」く姿をみんなで応援していきましょう。

これからも大好きな
空手で、少しでも
結果が上がるように
頑張ります!!



次回 9 月定例会 (予定)

9月1日～25日

日	月	火	水	木	金	土
16 8月	17	18 請願、陳情の 受付締め切り日	19	20	21 議会運営委員会	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	1 本会議 (一般質問)	2 本会議 (一般質問・議案審議)	3 本会議 (一般質問・議案審議)	4	5
6	7 総務産業建設委員会	8 厚生文教委員会 広報広聴委員会	9	10 決算特別委員会	11 決算特別委員会	12
13	14 決算特別委員会	15	16 決算特別委員会 (議員問討議)	17	18 議会運営委員会	19
20	21	22	23	24	25 本会議 (議案審議)	26

■本会議、委員会の開始時刻は午前9時30分からです。なお、広報広聴委員会の開始時刻は午後1時30分からになります。上記の日程は予定ですので、進捗状況によって、本会議が休会になる場合もございます。傍聴の際は、お電話またはホームページで日程をご確認の上、ご来庁ください。受付は議会事務局でお願いします。傍聴券や資料をお渡します。

お問い合わせ 議会事務局 ☎557-7693 (直通)

編集後記



ボランティアの方が育てている ひまわり
(みずほエコパーク)

夏祭りや花火の便りに、夏の深まりを感じる頃となりました。町内では季節ごとにさまざまな行事が開催され、多くの笑顔に触れる機会があります。こうした地域の活力は、町民の皆さまの日頃のご協力によって支えられています。議会では、町民の皆さまの声を町政に反映できるよう活発な議論を重ねています。今後も「開かれた議会」を目指し、分かりやすい情報発信に努めてまいります。ぜひ、ご意見やご感想をお寄せください。

文：森 亘

広報広聴委員会 広報部会員

森 亘 榎本 義輝
大和 雅彦 井上 一也
川島 靖弘 浜崎 崇



瑞穂町議会

検索

●インターネットで議会録画中継をご覧になれます。

〒190-1292 東京都西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎2335
TEL/042-557-7693 (直通) FAX/042-557-4433
✉ gikai@town.mizuho.tokyo.jp